

新年おめでとうございます。不安の多い年の幕開けです。

活断層上の原発の多さ、老朽化原発、膨大な核のゴミ、環境・食物の大規模な放射能汚染、多くの人々の内部被曝、展望の無い16万人超の避難者、不況、TPP、憲法9条の危機、2割台の支持で憲法まで変えられる小選挙区制の怖さなどです。

目先の経済最優先の社会が起こしたこれらの諸問題を考えますと、私たちには、これまでの社会や考え方の反省の上に立った変化が求められているのだと思います。一人一人が生活の場から、経済よりも本来の人間性が主になる理想をしっかりと持ち、社会に働きかけることが大切だと思うのです。人は、必ず、滅亡ではなく、再生の方向に進むことができると信じています。

さて今回は、化学繊維についてです。冬至も過ぎ、昼間は長くなってきますが、寒さはいよいよ本格的です。以前は、綿かウール素材が中心でしたが、今は、化繊の混紡がほとんどです。石油化学工業の発展とともに、洗濯しやすく、丈夫で、安価な化繊は、自然素材に取って代わるようになりました。冬物衣類も、アクリル・ポリウレタン・ポリエステル・ナイロン等の使用していないものはとても少なく、ベッドマットも、今は、ポリウレタン・ナイロンなしでは作れないようです。絨毯やカーテンも多くは化繊入りです。

元々この世に無かった物質一人間が創り出したものは、往々にしてアレルギーになりやすいようです。全身に粟粒のような湿疹ができ痒がっていた赤ちゃんは、ポリウレタンをはじめとする化繊アレルギーがあり、すべてを取り除くときれいな肌になりました。50代の男性は、中学生頃から夜間に咳が続いて困っていましたが、ポリウレタンをすべて取り除くと、その晩から、何十年も続いた咳が出なくなったといえます。また、学校の制服や体操着でアレルギーを起こす子供たちもいます。今ではほとんどが化繊混紡ですから、内側に綿素材のものを着用したり、私服で通学したりしています。

今まで化繊アレルギーは無いと思っていた人でも、ヒートテックにより、湿疹、痒みが出てくるということが最近増えています。原因不明の咳も、ヒートテックをやめたら止まったという人もいます。節電にありがたい素材と思っていたのですが、何種類もの化繊を更に加工したものは、何らかの要因でアレルギーを起こしやすくなっているのかもしれない。

綿100%として購入したものの、タグや縫い糸が化繊使用のため症状が出る人もいます。タグは取り除いた方がよいでしょう。縫い糸に反応する場合は、裏表に着用すると、肌に直接縫い糸が触れることが少なくなり、症状が改善されます。購入当初は、ホルマリンや染料、防虫剤にも過敏反応を起こすことがあり、化繊アレルギーの場合は、このような薬剤系にも注意をしなければなりません。何度か洗ってから着用しましょう。化繊は周囲にあふれている為、化繊アレルギーとは気づきにくく、すべてを取り除くのは、余程の決意が必要です。でも化繊アレルギーが強いと確定された場合には、きちんと取り除くことで症状は必ず改善します。

他に大きなアレルギーがあり化繊アレルギーが軽い場合は、大きなアレルギーを取り除き、ほとんどの出やすい化繊のものを少なくするだけでも症状は改善します。

私たちの生活の中には、余りにも急速に、自然なものではなく人工的なもの、多くは石油化学工業が生み出したものであふれ、体がその変化に対応しきれないのではないかと思います。自然なものを大切にしながら、体に合うものを選んで生活に取り入れたいものです。